

この住民説明会資料は、新市のまちづくり、行政運営の姿を皆様にお知らせすることを目的に作成したものです。資料の内容は、出雲地区合併協議会においてとりまとめられた「21世紀出雲の国づくり計画(中間とりまとめ)」「(新市建設計画案)及び各種の住民負担、事業など合併協定項目の協議結果の概要です。なお、この資料には、10月24日の第12回協議会までの内容を掲載しております。

# 21世紀

～未来と古代が響き合う 日本のふるさと出雲の国づくり～

# 出雲の国づくり

●●概要版●●

( 21世紀 出雲の国づくり計画(案)  
合併協定項目の協議結果 )

## 目次

新市まちづくり大綱	2
-----------	---

今、なぜ2市5町での合併なの?	3
-----------------	---

## 21世紀 出雲の國づくり計画(案)

どんなまちづくりをめざすの?	4
----------------	---

どんな行政運営をするの?	7
--------------	---

新市の財政はどうなるの?	9
--------------	---

具体的なまちづくりを教えて	12
---------------	----

○重点プロジェクト	13
-----------	----

○主要施策	17
-------	----

## 合併協定項目の協議結果

## 私たちの暮らしや地域はどうなるの?

○基本編[新市の名称や合併の日など]	30
--------------------	----

○議会・組織機構編[議会や役所、地域審議会など]	31
--------------------------	----

○安全・交通編[消防、防災、バス運行など]	32
-----------------------	----

○健康・福祉編[各種検診、医療、福祉対策など]	33
-------------------------	----

○教育・文化編[小中学校、図書館、公民館など]	35
-------------------------	----

○産業編①[農林業、漁業の振興など]	37
--------------------	----

○産業編②[観光、商工業の振興など]	40
--------------------	----

○都市・建設編[道路、都市計画、景観対策など]	41
-------------------------	----

○各種負担編[税金、国民健康保険料、介護保険料、各種使用料、手数料など]	42
--------------------------------------	----

○合併協議及び合併協議後のスケジュール	48
---------------------	----

資料	49
----	----

# 新市まちづくり大綱

新市においては、長期的かつ大局的な視点に立って、合併協議において合意した『21世紀出雲の國づくり計画』をはじめとする「合併協定項目」と2市5町の相互信頼と協力による「新設合併(新市誕生)の意義」を尊重・継承するとともに、地域特性を活かした新市の均衡ある発展をめざして、住民を主役とした“自立”と“自治”のまちづくりを推進します。

## 1 住民が主役のまちづくり

- 住民を主役とした住民参加のまちづくりを進めます。
- 住民と行政が連携し、お互いの役割と責任を十分に果たす協働のまちづくりを進めます。
- 住民が行政の政策決定過程に積極的に参画し、その意向を的確に反映できる行政システムを構築します。
- 情報公開、広報広聴機能の充実に努め、説明責任を果たし、情報を共有しながら、住民、行政、議会が一体となった公正、透明なまちづくりを進めます。

## 2 地域特性が光るまちづくり

- 地域の特性と魅力を活かし、地域の共生と交流を促進するとともに、多核的な結合と多面的な連携を図ることにより、新市の総合力を最大限に発揮するネットワーク都市の形成をめざします。
- 地域の主体的な自治活動を振興し、地域の伝統、文化や諸活動を継承・発展させるまちづくりを進めます。

## 3 地方分権時代に対応するまちづくり

- 自己決定・自己責任を基本として、多様化、高度化するニーズ、新たな行政需要に機動的、弾力的に対応できる行財政運営に努めます。
- 行政組織のスリム化、人員の適正化、事務事業の見直し、民間委託など徹底した行財政改革に取り組み、簡素で効率的、長期的に安定した行財政運営を進めます。
- 歳出全般にわたる徹底した削減と限られた財源の重点配分に努めるとともに、行政サービス水準の明確化を図り、適正な受益と負担の関係を確立します。
- 総合的かつ個性的な施策・事業を展開し、定住・交流人口の増加、地域経済・産業の発展により財政基盤の強化を図ります。

今、なぜ2市5町での合併なの？



### 生活圏が一体化しています

出雲地域2市5町(出雲市、平田市、斐川町、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町)は、地理的、歴史的にも経済、文化、生活の面でも強い結びつきがあり、通勤、通学、買い物など住民の「生活圏」は、市町の行政区域を越えて広がり、すでに出雲圏全体が一体的な活動圏域となっています。

### 多様化、高度化する住民ニーズへの対応が必要です

少子・高齢化、情報化の進展に伴い、住民の価値観やライフスタイルも多様化し、行政サービスに対する住民ニーズもあらゆる分野で多様化、高度化しています。これに対応するため、住民に身近なサービスを提供する地方自治体が総合的な施策の展開、専門職員の育成や配置によって行政能力を向上させる必要があります。出雲地域2市5町の合併は、その有効な手段となります。

### 自立する自治体をめざします

国・地方を通じて今後一層厳しくなる財政状況の中で従来どおりの手厚い支援は望めない状況にあります。このため各市町では、行財政の効率化に懸命に取り組んでいます。市町単独での効率化には限界も見えています。スケールメリットを活かした行財政運営を進めるとともに、地方分権時代にふさわしい主体的な判断と責任のもとでの自立した自治体経営が期待されています。とりわけ、住民との協働関係の確立、柔軟な発想に立った地域経営能力の向上が求められています。

### 期待される合併の効果

この地域には、空港、港湾機能、農業、商工業、観光、保養等の機能が集積し、恵まれた自然環境と併せ、極めて高い社会経済発展の可能性を持っています。

人や企業を惹きつける吸引力のある都市・生活・産業基盤を整備することにより、自立する経済や文化基盤づくりが期待できます。



この出雲地域2市5町が合併によって一つになり、共通の目標に向かい総合的なまちづくりを推進することによって、山陰の中核拠点都市として大きな飛躍が可能になります。